

読  
Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

響

BRAHMS

常任指揮者

セバスティアン・  
ヴァイグレ

Conductor= SEBASTIAN WEIGLE



3つのブラームス

悲劇的序曲 作品81

BRAHMS: Tragic Overture, op. 81

ヴァイオリンと  
チェロのための  
二重協奏曲 イ短調 作品102

BRAHMS: Double Concerto  
for Violin and Cello in A minor, op. 102

交響曲第3番 ～長調 作品90

BRAHMS: Symphony No.3  
in F major, op. 90

読売日本交響楽団 第688回 名曲シリーズ

2026.1.14(水) 19:00 サントリーホール

S¥8,800 A¥7,700 B¥6,600 C¥5,500 残券僅少

YNSO Popular Series No. 688 / Wed. 14 Jan. 2026, 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休・12/29~1/3を除く)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

助成: 独立行政法人日本芸術文化振興会 協賛: 大成建設株式会社

ヴァイオリン 林 悠介

(読響第1コンサートマスター)

Violin= YUSUKE HAYASHI  
(YNSO First Concertmaster)



ヴァイグレの  
ブラームス選集



チェロ 遠藤 真理 (読響ソロ・チェロ)

Cello= MARI ENDO (YNSO Solo Cello)

©Yuji Hori

# ドイツの名匠ヴァイグレが渾身のタクト! 《オール・ブラームス・プログラム》

ALL BRAHMS



常任指揮者

セバスティアン・ヴァイグレ

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。バルセロナのリセウ大劇場とフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮し、高い評価を得た。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・フィル、ウィーン響、ベルリン放送響などで活躍。雑誌「オーパンヴェルト」の年間最優秀指揮者などを受賞。24年10月には読響の欧州ツアーを成功に導いた。

1月の《名曲シリーズ》は、ドイツの名匠ヴァイグレによる《オール・ブラームス・プログラム》。常任指揮者に就任して7年目を迎えるヴァイグレは、これまでブラームスの交響曲第1番、第2番、第4番、そしてヴァイオリン協奏曲やピアノ協奏曲第2番、「ドイツ・レクイエム」などを演奏し、高い評価を得てきた。今回、読響とは初めてとなる3つのブラームス作品を取り上げ、更なる芸術性の高みを目指す。

メインに演奏するのは、1883年に書かれた交響曲第3番。ブラームスが円熟期を迎えたとも言える50歳の時の作品で、繊細な感情の揺れを巧みに表し、内面的な深さを持った曲だ。ヴァイグレのタクトは、様式美を保ちながら、時に激しい感情を表し、時に極めてナイーブな音楽を引き出すだろう。ヴァイグレ&読響が作り出す、ブラームス特有の豊潤なサウンドと、陰影に富んだ表現にご期待いただきたい。

前半には、第1コンサートマスターの林悠介とソロ・チェロの遠藤真理がソリストとして登場。1887年に作曲された「ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲」を披露する。この協奏曲は、ソリスト二人がオーケストラと室内楽のような緻密なアンサンブルを展開する一方、オーケストラ全体が演奏する部分は交響曲のような重厚な響きを持つ独創的な作品だ。林と遠藤の二人は、ウィーンやドイツで生活する中でブラームスの音楽を体得しており、ヴァイグレと共に息の合った演奏を繰り広げるだろう。ブラームス作品の神髄に迫るはずだ。

1曲目は、1880年に書かれた悲劇的序曲。運命が告げられるような二つの和音から始まる重々しい作品で、苦しみを断ち切るような熱いエネルギーに満ちているのが特徴的。ヴァイグレは、読響から重厚で荘厳な響きを引き出し、力強いドラマを描きだすだろう。



ヴァイオリン 林 悠介

(読響第1コンサートマスター)

ドイツでの豊富な経験と知性あふれる演奏で読響をリードする名手。ウィーン国立音楽大学、同修士課程を修了。ブレシア国際コンクール、ルイス・シガール国際コンクールなど優勝。ニールセン国際コンクール第2位、ハノーファー国際コンクールやメニューイン国際コンクールなどで入賞。チリ国立響、パドヴァ・ヴェネト管などと共演。約9年間ドイツに住み、ハノーファー北ドイツ放送フィルやツッパータール響などでコンサートマスターをはじめとする要職を歴任。2021年に読響のコンサートマスターとなり、25年4月から読響の第1コンサートマスターを務めている。現在、東京芸術大学非常勤講師。



チェロ 遠藤 真理

(読響ソロ・チェロ)

日本を代表するチェロ奏者で、2017年4月から読響のソロ・チェロを務める俊英。東京芸術大学、ザルツブルクのモーツアルデウム音楽大学修士課程を修了。日本音楽コンクール第1位、「プラハの春」国際コンクール第3位、エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位、斎藤秀雄メモリアル基金賞など受賞多数。ソリストとしてG.ボッセ、J=P.ヴァーレーズ、モルロー、小林研一郎、山田和樹らの指揮で、国内外の楽団と共に活動。室内楽やリサイタル活動も展開。CDはエイベックス・クラシックからリリース。8年間NHK-FM「きらクラ!」のパーソナリティを務めるなど幅広く活躍中。

読売日本交響楽団 第688回 名曲シリーズ

2026年 1月 14日(水)19時開演

**学生券** 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ¥5,500 **SOLD OUT**

残券僅少

• 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 • 東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時~18時・年中無休(12/29~1/3を除く)

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>